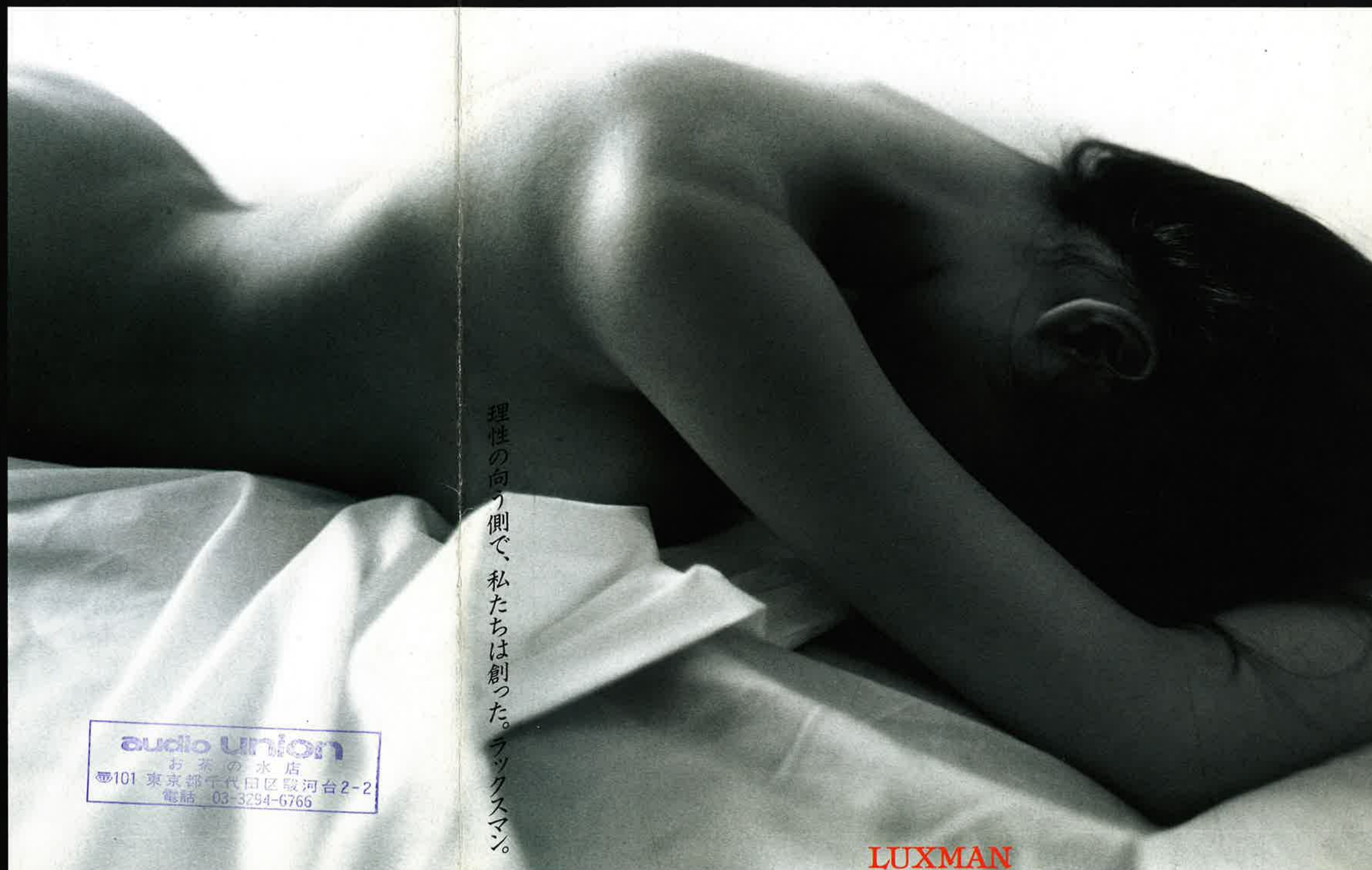


luxman **ULTIMATE**

ULTIMATE FIDELITY : A LIMITED EDITION CRAFTED BY LUX CORPORATION, JAPAN

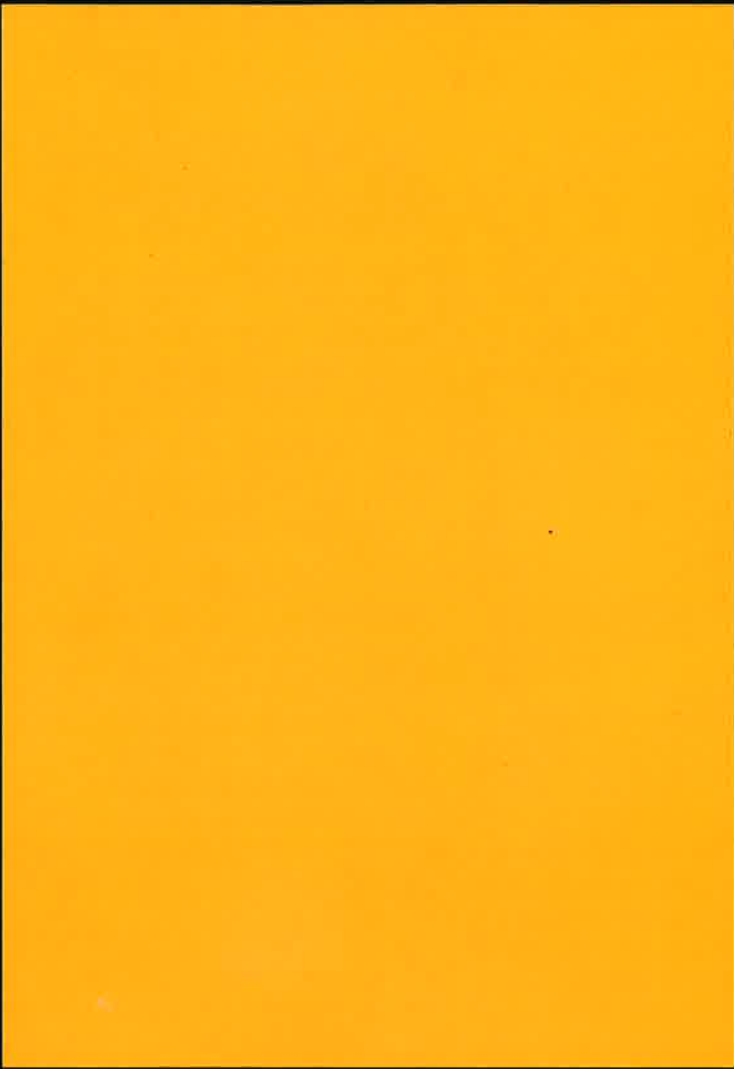
L-570/L-540
INTEGRATED AMPLIFIER



理性の向う側で、私たちは創った。ラックスマン。

audio union
お茶の水店
〒101 東京都千代田区駿河台2-2
電話 03-3294-6766

LUXMAN



どうしてもそうするのか?

どうしてもそうするのだ!



オーディオシステムのまとめ方にはいろいろな方法があります。コンポーネントのどの部分に重点を置くかは好みによって異なるものの、全体の規模の中でそれぞれのコンポーネントが主張を許され、分担する役割が決まります。その手法のひとつとして、アンプリファイヤーはセパレートかプリメインかの選択になるでしょう。

一定の規模を超えた時点において、メーカーとしてはプリとパワーに2分化せざるを得ない場合もあります。もちろんプリにもパワーにもメーカーのポリシーは明確に現われますが、ユーザー側からはプリとパワーに分かれていた方が、より自由に選択できるというメリットがあるのも確かです。しかしデジタルテクノロジーの出現によって、CDを含めたミュージックソースの多様化もその内容はおおむね目途が立ち、一方、部品や素材の改良・開発が安定した現時点では、セパレートでなくプリメインとしてアンプリファイヤーを一体化することによって獲得できるメリットも否定できません。シグナル処理のプロセスがすべて近接した場所で行なえ、音楽表現における主張が一貫できるというプリメインならではの優位性です。L-570/L-540は、プリメインアンプとしてはその規模や価格において非常識のそしりは免れないところかも知れません。しかし、パワーアンプM-07から始まった一連のセパレートシリーズが、DAコンバーターDA-07、CDプレーヤーDP-07と進んできた現在、ラックスはどうしてもこの製品を創らなければならぬ意義を感じました。結果的には、先に発表したセパレートシリーズをおびやかすほどのクオリティを達成したと考えています。

どうしてもそうするのか? どうしてもそうするのだ!

音楽の中に脈々と息づく生命の再現を求め、セパレートアンプをしのぐ物量と技術と熱気をそそいだプリメインアンプL-570とL-540。理性の向う側で創った、もうひとつのラックス。

L-570

INTEGRATED AMPLIFIER

¥350,000

(消費税は含みません)



オーディオはあくまで音楽にひたるための素材です。そしてアンプは納得のゆくプリメインによって装置全体を簡潔に構成できれば、音楽に寄せる素材としてひとつの理想に近づくことができます。L-570はラックスが全力を投入して、みずから求める結論に挑戦したプリメインアンプです。結果として、M-07で得た超低域表現のためのノウハウとC-06やE-06でチャレンジした微小信号の処理方法などを十分に消化し、納得できるまとめ方ができました。一切の付加機能を排除し音楽のための機能と特性だけを突き詰めた比類ない簡潔さの中に、音楽の生命はなんとみずみずしく息づくことでしょう。感動を聴く、純粋な音楽再生機L-570。プリメインアンプにおけるラックスの最終結論にしたいと考えています。

生命の響きをありのままに

ピュアA級50W+50W(8Ω)

音楽が本来もっているダイナミズムとデリカシーに

超弩級の低域表現、生命ある音楽エッセンス。

しなやかに対応するためには、アンプはピュアA級が望ましい。この一貫したラックスのオーディオ思想は、ここに脈々と受け継がれています。L-570のピュアA級動作は、常にたっぷりした電流を流すオードブックスな手法。最大出力まで一定したバイアス電流を供給するので、信号による動作ポイントの変動がなく、A級動作ならではの高品位なパワークオリティが音楽のさまざまな表情に追従します。50W+50Wとは到底信じ難い音楽の密度感。効率追求型の疑似A級方式とラックスの真正A級方式との大いなる差が、ここにあります。しかも超低インピーダンスのスーパーレギュレーション電源により、2Ω負荷時には200W+200Wと理論値通りの負荷駆動能力を獲得。ピアノシモにおける音楽の清澄感からフォルテシモにおける爆発的なエネルギー感まで、音楽の起伏と奥行きと広がりをも一点の曇りもなく高品位に再現し尽くします。休止符にさえ生命の血を通わせる

低インピーダンスの強大な電源部

電源トランスの大きさが音質のすべてを決定づけるわけではありませんが、弱体のトランスからは決して音楽の感動を引き出し得ないのも周知の事実です。L-570は、通常の同クラスのアンプに較べ30%も大きい大容量の電源トランスを搭載。各ステージ独立巻線の定電圧電源は、徹底した低インピーダンス化が図られ、優れた瞬時応答能力を発揮します。特にパワー段への電流容量は通常の1.5倍のマージンをもち、さらに驚異的な超低インピーダンス化を達成。ダイナミックに変動する音楽信号をピュアA級のパワークォ



電源トランス

リティーで再現する圧倒的なスーパーレギュレーションを獲得しています。こうした低インピーダンス負荷駆動能力は、2Ωの負荷に対してもどこまでもリニアな出力供給を可能にすることで実証されています。

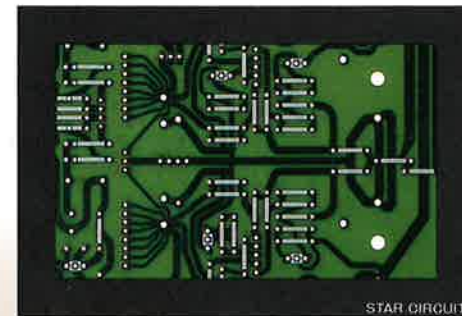


ゲミコンブロック

シンプル・イズ・ベストを徹底した

簡潔な信号経路とコンストラクション

L-570の内部を覗いていただければ、まさに信号の流れが目に見えるようなシンプルな信号経路と左右シンメトリックなコンストラクションがお分かりいただけるでしょう。純粋な音楽再生のためのシンプル・イズ・ベストの考え方がここに具現されているのです。



STAR CIRCUIT

実際に、入力端子からスピーカー端子へと至る信号経路は、複雑な引き回しや余分な挟雑物を徹底して排除した、簡潔でスムーズな流れとなっています。例えば、合計10系統にも及ぶ多入力切替は、入力端子に近い最適な位置で選択端子のみをアース側も含めてリモート切替。さらに切替用には窒素ガス封入金接点リレーを採用し、音質向上を徹底追求してい

ます。スピーカー端子はA/B切替なしで専用化。思い切ってヘッドホン端子を無くし、余分な回路を介さずパワー段とダイレクト接続するといった徹底ぶり。配線材には要所に音質対策のPC-OCCを使用しています。こうした信号経路のシンプル化と音質向上部品の採用によって守り抜かれた音楽信号の純度は、さらに無共振ボトムシャーシーとシンメトリックな重量バランスをもつコンストラクションにより、格段に高められています。

深遠なアナログの可能性を引き出す
MC/MM独立フォノイコライザー

CD、DAT、DBSなどデジタルソース主流のオーディオシーンにあって、アナログの音楽表現力はますます底知れない魅力を深めています。L-570は、MCカートリッジ用アンプとMMカートリッジ用アンプをそれぞれ専用化して独立。MCアンプではスーパーローノイズ・ハイGm FETをパラレル使用。さらに電源部は定電流/定電圧回路を組み合わせたローノイズ基準電圧電源を採用することにより、低インピーダンス出力による極めてローノイズな電源を実現しました。もちろんこのイコライザーアンプもA級動作とし、極限的に高品位なアナログディスク再生を可能にしています。

必然という名の贅沢

超大型アルティメート・アッテネーター

アンプにとって音量調整機能は必要不可欠なものです。しかし音質のことだけを考えた場合、できれば排除してしまいたい。この矛盾に満ちた背景の中で生まれたのが、独創のアルティメート・アッテネーターです。従来の一般的な連続可変型ボリュームは、カーボン皮膜の上を金属が接触スライドする方法のため、摺動部の迷走電流や接点材質などにより音質上の限界が指摘されてきました。アルティメート・アッテネーターは原点に還りその究極を目指して開発されたものです。新開発のスライドロータリースイッチをベースに、ガラスエポキシ金メッキ基板に非磁性体抵抗を



無共振ボトムシャーシー

一個一個マウントし、ダイキャスト押出材によるシールドケースなどで構成した32接点ロータリースイッチ型アッテネーター。音のクオリティをわずかも阻害することを許せなかった耳が、セパレートアンプでさえ贅沢とも言えるこの超大型アッテネーターを採用したのです。



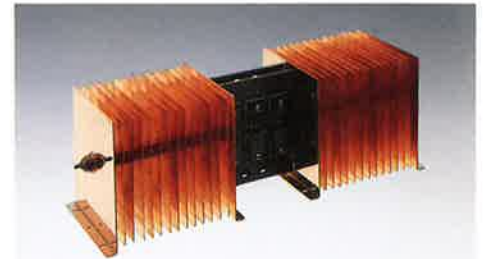
L-570用アルティメート・アッテネーター

高級オーディオ用Vn

効率の高い放熱構造の

純銅ハイエフィエンス・ラジエーター

ピュアA級アンプL-570はその純度の高い再生音の副産物として、かなりの熱を発生します。そうした条件下でつねに安定した動作を保证するため、放熱効果の高い純銅のフィンを採用したハイエフィエンス・ラジエーターを新たに開発。トータルな音楽表現力の追求に役立てています。



ハイエフィエンス・ラジエーター

すべては無類の音質を守り切るために

ハイクオリティパーツと純音楽機能

- 金メッキ・キャップの贅沢な抵抗。最高峰パワーアンプM-07と同一の素材を随所に使用することで、さらに音質向上を実現。
- 高性能スチロールコンデンサーやピュアフォーカス型

奔放と良識。ラックスの限界提案。



L-570 SPECIFICATIONS ●実効出力 50W+50W(8Ω, A級動作、両チャンネル同時動作) ●全高調波歪率 0.01%以下(8Ω定格出力20Hz~20kHz) ●歪調率 0.01%以下(8Ω, 60Hz~7kHz=4:1 DIRECT) ●入力感度/インピーダンス PHONO(MM)2.0mV/50kΩ, PHONO(MC)100μV/100Ω, CD150mV/50kΩ, TUNER150mV/50kΩ, LINE-1,-2 150mV/50kΩ, BALANCE/LINE150mV/50kΩ, DAT/TAPE-1 150mV/50kΩ, TAPE-2,-3 150mV/50kΩ, SIGNAL PROCESSOR 150mV/50kΩ ●S/N比(IHF-A補正入力ショート) PHONO(MM)86dB以上, PHONO(MC)74dB以上, CD108dB以上, TUNER108dB以上, LINE-1,-2 108dB以上, DAT/TAPE-1 108dB以上, TAPE-2,-3 108dB以上 ●周波数特性 PHONO

(MM)20Hz~20,000Hz(±0.3dB以内), PHONO(MC)20Hz~20,000Hz(±0.3dB以内), CD/TUNER/LINE/TAPE10Hz~100,000Hz(-1dB以内) ●トーン・コンベンサー 最大変化量 ±4.5dB ●付属機能 レコーディング・セクター (source, off, dubbing 1~2, 3, 2~1, 3), トーン・コンベンサー, ダイレクトスイッチ, シグナル・プロセッサ, ラインフェーズ・センサー, AQアウトレット (SWITCHED:2個, UNSWICHED:1個) ●電源電圧 AC100V(50Hz/60Hz) ●消費電力 270W(電気用品取締法の規定による) ●外形寸法 438(W)×176(H)×467(D)mm ●重量 30kg

電解コンデンサーなど、音質対策パーツを惜しみなく採用しています。

●トーンコンペンセーターは音楽性の高いリニアな特性を備えた音質補正コントローラー。生命感を損わない微妙な音質補正が目的。

●録音出力切換用のレコーディングセレクター。OFF位置では録音出力が信号系から切り離され、音質劣化を防ぎます。

●ラインフェーズセンサーは電源極性(プラグを差し込む方向)を正しく合わせることができ、音質向上に貢献します。

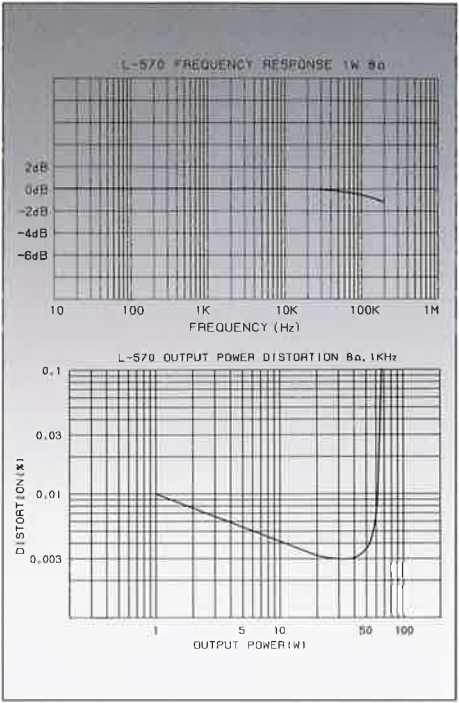
オーディオ精神に感応する

高品位の感触とたたずまい

人間の感性に訴える音楽再生機としてのアンプは、その操作感や意匠のたたずまいにおいても人間の感性に添ったものでなければなりません。L-570は、入力切換スイッチやパワースwitchに独自のフェイスフルスイッチを採用。あくまでも軽いタッチながらカチッとした確実な切換の感触が得られます。セパレートアンプクラスのたたずまいをみせる格調ある意匠。落ち着いた色調と光沢をもつシャンペンゴールドのパネル。そっけないとも思えるほどシンプルに整理されたパネルレイ



アウト、最新の木工技術によって入念に仕上げられたリアルウッドのキャビネットなど、すべてが音楽再生機にふさわしい品位を醸しだしています。



L-540

INTEGRATED AMPLIFIER

¥219,000

(消費税は含みません。)



その容貌や質感に、つぶさに目を注いでください。そしてその音楽再現性に耳をそばだててください。L-540は上級機L-570とまったく相似形のプリメインアンプです。音楽に息づく生命を純粋なまま再現するというL-570とまったく同一のコンセプトに立脚し、その無類の音楽性をさらに身近に引き寄せるために練り上げた、もうひとつの簡潔なプリメインアンプ。L-570では排除したヘッドホン端子やスピーカーA/B切換端子を装備するなど、よりリーズナブルな使い勝手を求めましたが、音楽再生機としてのこだわりを尽くす純粋オーディオ精神は、いささかも妥協することなく買われています。音楽に没入するためのプリメインアンプとしてL-570の宿敵となる存在と言えましょう。

M-07直系の高品位なビュアA級方式

大入力にはAB級(100W+100W)で対応

熟成されたビュアA級方式を採用。A級動作(15W+15W)を超える領域ではA級をベースにしたAB級動

音楽に寄せる簡潔なクオリティを、より身近に。

作へと自然に移行します。通常レベルでは、ダイナミックに変動する音楽の瞬発エネルギーをA級のクオリティで再現。圧倒的なフォルテシモに対してもAB級(100W+100W)のハイパワーが余裕をもって応えます。

音楽の呼吸にしなやかに追従する

スーパーレギュレーションアンプ

大きな電源変動にもゆるぎない安定した電源部を搭載。電源トランスは各ステージごとに巻き線を独立させ、出力レベルの異なる各ステージ間の影響を極力排除しています。これにより、スピーカーのインピーダンス変動に余裕をもって対応することができます。

信号経路のシンプル化と

現代が求める多入力対応を両立

フォノ2系統(MC/MM)、ライン5系統(キャノン端子入力1系統を含む)、録再3系統と合計10系統の入力端子を装備しています。しかも多入力カシンプ回路を実現するため、フレキシブルスイッチと窒素ガス封入金接点リレーを採用。信号経路の短縮化と音質向上を徹底追求し、最新デジタルソースをハイクオリティに再現します。

奥深いアナログの魅力に迫る

MC/MM独立フォノイコライザー

MC、MMそれぞれのカートリッジ用アンプを専用化して独立した4イコライザーアンプの贅沢な構成です。MCアンプではスーパーローノイズ・ハイGm FETをパラレル使用。MMアンプではトータルなNF量をMCアンプと同量にし、過剰NFBによる音質への悪影響を避けています。

音質追求に徹底してこだわった

パーツとコンストラクション

抵抗/コンデンサー1本に至るまで音質対策パーツを使用。また、高品位の音質を守り抜くためコンストラクション全体の無共振化を徹底。セラミック入り高密度FRP採用の5点接地シャーシベースもその一例です。操作性においては、軽い感触で確かな操作感が得られるフェイスフルスイッチを採用。金接点リレーの確

実な動作を実現しています。

より深く音楽感動に分け入るための

多彩な機能と高品位な質感

●トーンコンペンセーター

リニアな特性を備えた音質補正コントローラ。音楽の生命感を失わない微妙な補正が可能。

●シグナルプロセッサー

グラフィックイコライザーなどの入出力端子と選択スイッチ。多彩な音の表情が楽しめます。

●スピーカーA/B切換

余裕のある低インピーダンス駆動能力により、スピーカーAまたはBの単独使用、A+Bの同時使用も可能です。

●ヘッドホン端子

モニター時に便利なヘッドホン端子を装備。パネル面の美観を損なわない使いやすいレイアウトです。

●レコーディングセレクター

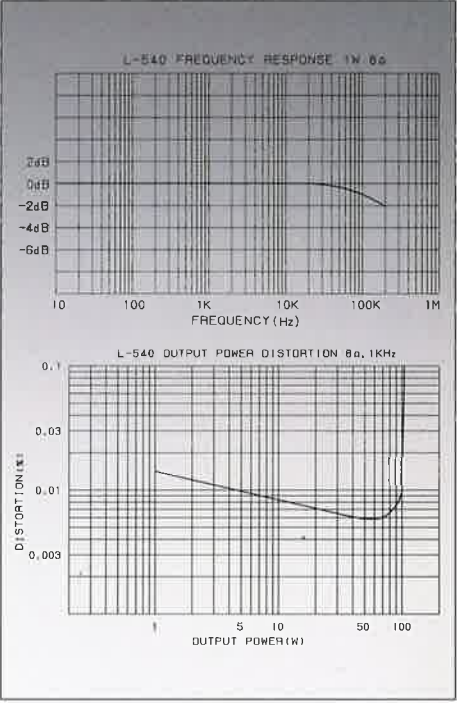
録音出力切換用セレクターで、OFF位置では録音出力が信号系から切り離され、音質劣化を防ぎます。

●ラインフェーズセンサー

電源極性を正しく合わせることができ、音質向上に貢献します。

●重厚で高品位な意匠

シャンペンゴールドのパネルとリアルウッドのキャビネット。L-570とまったく同様の高品位なたたずまいです。



●仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

L-540 SPECIFICATIONS ●実効出力100W+100W、A級動作領域15W+15W(8Ω、両チャンネル同時動作) ●全高調波歪率0.015%以下(8Ω定格20Hz~20kHz) ●混変調歪率0.015%以下(8Ω、60Hz:7kHz=4:1DIRECT) ●入力感度/インピーダンス PHONO(MM)2.0mV/50kΩ、PHONO(MC)100μV/100Ω、CD150mV/50kΩ、TUNER150mV/50kΩ、LINE-1、-2 150mV/50kΩ、BALANCE/LINE150mV/50kΩ、DAT/TAPE-1 150mV/50kΩ、TAPE-2、-3 150mV/50kΩ、SIGNAL PROCESSOR150mV/50kΩ ●S/N比(IHF-A補正入力ショート) PHONO(MM)85dB以上、PHONO(MC)74dB以上、CD108dB以上、TUNER108dB以上、LINE-1、-2 108dB以上、DAT/TAPE-1 108dB以上、TAPE-2、-3 108dB以上 ●周

波数特性 PHONO(MM)20Hz~20,000Hz(±0.3dB以内)、PHONO(MC)20Hz~20,000Hz(±0.3dB以内)、CD/TUNER/LINE/TAPE10Hz~100,000Hz(±1dB以内) ●トーン・コンペンセーター 最大変化量 ±4.5dB ●付属機能レコーディング・セレクター(source、off、dubbing1→2・3、2→1・3)、トーン・コンペンセーター、スピーカー切換(A、B、A+B)、ヘッドホン端子、ダイレクト・スイッチ、シグナル・プロセッサー、ラインフェーズ・センサー、ACアウトレット(SWITCHED)2個、UNSWITCHED:1個) ●電源電圧 AC100V(50Hz/60Hz) ●消費電力 300W(電気用品取替法の規定による) ●外形寸法 438(W)×176(H)×467(D)mm ●重量 24kg